

事業シート(令和6年度予算)

事業名	91200 外国青年(外国語指導助手)招致事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	1	教育総務費		根拠計画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	2	事務局費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が生きた英語に接し、コミュニケーションする機会を得る中で、英語を中心とする異文化理解の資質を養うとともに、郷土を愛し郷土の文化を尊重する態度を育てる。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 外国語指導助手(ALT)を招致し、小中学校における次のような英語指導等を進める。 小学校の英語活動の時間に、担任とともに簡単なコミュニケーション活動を行う。 中学校の英語の時間に英語教師とともに英語指導をする。 イングリッシュシャワーや英語スピーチコンテストなどに参加する児童生徒の支援をする。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R4			R5		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	15,339	9,898	15,273			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(外国青年招致事業雑入等)	1,320	1,311	1,320			
一般財源	14,019	8,587	13,953			
個票枝番	主な事業内容					
	外国青年(外国語指導助手)招致事業費	15,339	9,898	15,273		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額	13,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
15,475	15,408	15,408	135
1,320	1,320	1,320	0
14,155	14,088	14,088	135
査定額	説明		
15,408			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 外国語指導助手(ALT)を中学校への1学級あたりの訪問時間数は週1~2時間実施 外国語指導助手(ALT)を小学校への1学級(3年生以上)あたりの訪問時間数は週1~2時間実施 消防署で行われる外国人を対象とした災害や病気を想定した訓練(1月)にALT3名が参加。 中学生を対象としたイングリッシュシャワーを夏休みに実施。29名が参加。 小学生を対象としたイングリッシュシャワーを10月と12月に実施。26名が参加。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ALTと小学校担任及び英語科教員による効果的なティームティーチングができるようにすべてのALTを対象とした授業力向上研修を年2回実施した。 スピーチコンテストに参加する生徒の指導、援助をすることができた。 学校規模や立地条件による1学級あたりの訪問時間数に多少の差があるが、平均化するように努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ALTが授業プランを作成し各小・中学校に提案する。 ALTの効果的な活用について担当者から各小・中学校に提案する。 学校規模や教職員の勤務実態に応じて多少の差があるが、平均した訪問ができるように、ALTの配置等について引き続き検討する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R5完了
- R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 外国語指導助手(ALT)による教育に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度予算)

事業名	91210 教育委員会事務局運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	1	教育総務費		根拠計画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	2	事務局費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の健康維持、病気の早期発見(学校保健安全法に基づく) ・日本スポーツ振興センター共済への加入促進により、学校管理下における児童生徒の災害発生時の保護者経費負担の軽減を図る。 ・教職員や学校医等の活動支援により、児童生徒の健全な育成を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・県費教職員及び保健相談員を対象とした胸部レントゲン検査及び県費教職員を対象とした年代別健康診断を行う。 ・保護者の日本スポーツ振興センター共済掛金の一部を負担する。 ・教職員や学校医で組織される各種団体の上部団体からの分担金の負担および団体への助成を行う。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R4			R5		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	14,194	13,887	14,426			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(日本スポーツ振興センター ほか)	2,922	2,910	2,809			
一般財源	11,272	10,977	11,617			
個票枝番	主な事業内容					
	日本スポーツ振興センター負担金	6,200	6,138	6,000		
	教職員健康診断	2,358	2,358	2,400		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額		14,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
14,466	14,473	14,473	47	
2,757	2,757	2,757	△ 52	
11,709	11,716	11,716	99	
査定額	説明			
5,900				
2,600				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年代別健康診断 208人 ・胸部レントゲン検査 565人 ・共済掛金の一部負担金 6,418人 ・各種団体への負担金、補助金の支出 負担金 13団体、補助金 1団体
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の健康推進のため、継続して事業を実施することができた。 ・学校管理下における児童生徒の災害補償をすることにより、保護者負担の軽減を図ることができた。 ・校長会等への負担により、各機関、団体と連携を密にした事業をより効率的に実施することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・レントゲン検診等は、教職員の健康推進のため、継続して事業を実施する。 ・日本スポーツ振興センターの加入で学校管理下における児童生徒の災害補償がなされるため、保護者負担の軽減を図る。 ・各種団体への負担を行うことにより、各機関、団体と連携を密にした事業をより効率的に実施する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の健康診断に必要な経費を計上 ・各種団体活動等への支援に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和6年度予算)

事業名	91240 教育研究所運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	子どもたちが充実した将来を迎えることができるための教育環境を整えます	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み			
			項	1	教育総務費		根拠計画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	事務局費							
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 教育研究所(研究・研修センター・相談・資料センター)を中心に教職員や児童生徒等の支援の充実 であい塾、学びの多様化教室「にじ色」の運営や相談体制の充実などによる不登校児童生徒の学級復帰への支援 幼保小連携協議会を中心とした活動による幼稚園や保育園から小学校への円滑な就学の援助 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 指導力向上に資する教員研修を行う。 指導主事が学校訪問し教職員の指導を行う。 であい塾(不登校児童生徒適応指導教室)、学びの多様化教室「にじ色」の管理、運営を行う。 幼保小連携のための朝のスタートプランなどによる生活習慣形成の支援を行う。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
緊急サポートスタッフの派遣	0		0

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R4			R5		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	18,869	15,442	13,213			
特定財源	国費 (情報機器整備事業費 1/3)	1,685	1,122			
	県費 (ふるさと魅力体験学習事業 等)	1,125	1,044			
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、雑入)	1,000	1,000			
一般財源	15,059	12,276	13,213			
個票枝番	主な事業内容					
	であい塾児童生徒送迎、不登校児童生徒教育相談等	1,460	1,631	1,580		
	大学連携による研修等	70		70		
	ふるさと魅力体験学習事業	1,125	1,044			
	タブレット端末の導入、貸出ルーター用通信使用料等	3,950	3,945	1,810		
	いじめ防止アドバイザー派遣	1,370	1,260	1,370		
	教育支援センター(学びの多様化教室「にじ色」の運営にかかわるものを含む)関係	250				
	ICT機器運用支援ヘルプデスクの導入・運用	3,370	3,366	3,370		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額		20,440
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
21,226	18,623	18,623	5,410	
1,122	1,122	1,122	1,122	
		400	400	
20,104	17,501	17,101	3,888	
査定額	説明			
1,625				
50				
265				
1,400				
7,298				
3,370				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 教員の研修等の実施 39回 延べ参加人数約2000人 学校への出前講座の実施 校内研究支援と指導助言の実施 相談体制の整備(年間221件対応) ふるさと魅力体験事業 小学校1校、中学校3校 特別支援学級でのタブレット端末の運用 家庭学習のための貸出用ルーター20台の運用 支所域での移動であい塾の開設
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級の児童生徒も含めた各学校における人数の変更に応じてタブレット端末の配置を調整し、各々の学年や個々の学習進度に応じて学ぶことができる個別学習の環境を整えることができた。 モバイルルーターの貸出によって災害や新型コロナウイルス感染症による休校時などにおける家庭でのオンライン学習を進めることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> オンラインの併用により教員研修の充実を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 教育支援センターや学びの多様化教室「にじ色」の運営に必要な経費を計上 ICT機器支援ヘルプデスクの運用に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度予算)

事業名	91250 特別支援教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	1	教育総務費		根拠計画				教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
			目	2	事務局費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学びにくさ、生活のしづかさなどの困り感を抱えた児童生徒の教育的ニーズに応じて適した指導・援助を行い、自立を支援する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・就学相談会、特別支援教育講演会、教育支援委員会を開催する。 ・医療行為を必要とする障がい児等を訪問看護により支援する。 ・幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校等、就学前から卒業までを見据えた切れ目ない支援を行う。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R4			R5		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	1,460	541	1,910			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他()						
一般財源	1,460	541	1,910			
個票枝番	主な事業内容					
	障がい児等に対する地域と一体化した教育支援	170	120	190		
	医療行為を必要とする児童生徒の学校活動に対する支援	1,290	421	1,720		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額		1,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,940	1,950	1,950	40	
1,940	1,950	1,950	40	
査定額	説明			
230				
1,720				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・就学相談会の実施(5月下旬~6月上旬各小学校で実施) 1回 ・特別支援教育講演会の実施(オンライン・参集型) 2回 50人×2回 ・教育支援委員会の開催 2回 ・訪問看護の実施 12回 ・幼保小連携協議会 2回(オンライン開催・参集型)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の理解を深めるのに適した講師を招き、特別支援教育コーディネーター、通級指導担当、あるいは希望する教諭まで参加範囲を広げ、講演会を開催できた。 ・年度途中での導尿ケアが必要な児童への対応が迅速にできた。また、年度末に一型糖尿病を発病した児の新就学に向けての医療的ケアの対応についても迅速に対応ができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も教職員の資質向上のための研修を充実させていく。 ・医療的ケアについては、年度途中で病気になる、医療的ケアを必要とする子もいる。現在の分も考慮した予算確保をしているが、その維持は必須だと考える。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・特別支援が必要な児童生徒への支援に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度予算)

事業名	92200 小学校運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	2	小学校費		根拠計画 教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	教育振興費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営に関する費用を負担することにより義務教育の充実を図る。 全教育活動を通して児童の心身の健全育成を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営に関する費用を負担する。 新入学時に安全な通学のため安全帽子と防犯ブザーを配付する。 あたたかな人間関係づくりのための心理検査を実施し学級経営を支援する。 児童の健康診断を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う児童生徒の割合	81.9		100%
教職員1人あたりの時間外勤務	32.7		↘

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		39,407	35,168	36,670		
特定財源	国費(情報機器整備事業費 1/2)		296			
	県費(学校基本調査事務費 10/10)		7			
	その他(福祉健康基金繰入金)	2,700	3,630	700		
一般財源		36,707	31,235	35,970		
個票枝番	主な事業内容					
	防犯ブザーの配付	490	433	490		
	人間関係づくりのための心理検査の実施	2,690	2,668	2,720		
	小学校運営事業	31,837	27,678	29,070		
	校務支援システムの導入	4,390	4,389	4,390		
	教科書改訂に伴う指導書購入					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額		77,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
114,894	112,990	112,990	76,320	
263	263	263	263	
724	700	700	0	
113,907	112,027	112,027	76,057	
査定額	説明			
490				
2,650				
29,960				
4,390				
75,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施(小3~6年生) 2,895人 児童健康診断 4,337人 防犯ブザーの配付 607人 校務支援システムの運用
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 小3~6年に対する心理検査を実施。各校で結果を分析し児童の変化に気づくことで、早めの対策を講じることができた。 校務支援システムを活用することにより、出席簿、成績、出退勤把握の業務において、事務処理が統一化され、作業に係る負担を軽減することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 <input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> 本事業費は、児童が充実した学校生活を送るための学校運営に必要な事務経費であり、今後も効率的な運営を行い、児童の心身の健全育成のため継続して事業を実施する。

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定 <input type="checkbox"/>

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 小学校教育の運営に必要な経費を計上 教科書改訂に伴う指導書購入に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度予算)

事業名	92210 小学校心の教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	2	小学校費		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	教育振興費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 個々の内面に寄り添い支援しながら、一人ひとりが持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。 児童の学校生活への不適応やいじめ、不登校問題などの未然防止を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 保健相談員、特別支援員を配置し、児童の学校生活の支援を行う。 スクールカウンセラー(臨床心理士)を派遣し、心のケアを行う。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R4			R5		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	2,050	1,995	2,050			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源	2,050	1,995	2,050			
個票枝番	主な事業内容					
	2,000	1,995	2,000			
	スクールカウンセラーの派遣					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
2,050	2,050	2,050	0
2,050	2,050	2,050	0
査定額	説明		
2,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士によるカウンセリング時間 399時間 保健相談員(小学校) 27人 配置 特別支援員(小学校) 66人 配置
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 学習や集団生活に「困り感」をかかえる児童に寄り添いながら、教職員との連携体制を整え、適した支援を行うことができた。 特別支援学級の増加や相談室等での支援を要する児童生徒の増加に伴い、保健相談員、特別支援員を増やし、支援を充実させることができた。 会計年度任用制度の3年目で更新のための面接を行い、人事評価と合わせて適格・不適格を判断した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 異学年にまたがる特別支援学級7~8人の学級では支援員を配置。 発達障がいや不登校傾向の生徒への対応、日本語が困難な生徒への対応など、手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。 相談員の資質・能力の向上や不登校対策(校内支援センター設置)に向けた保健相談の充実を図る。 相談員の増加に伴い、適正な勤務管理、勤務態度、支援等を指導する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・小学校における心のケアに必要な経費を計上
---------------------	-----------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

事業シート(令和6年度予算)

事業名	92220 小学校教育機器整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 子どもたちが充実した将来を迎えることができるための教育環境を整えます	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み			
			項	2	小学校費		根拠計画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	教育振興費							
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 児童の学習意欲の向上と学力の定着を図る。 情報教育により情報化社会に対応した情報通信機器を活用できる力の習得や規範意識の向上を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信関連機器などの教具・教材を整備する。 学校内で使用する教材備品の購入
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「国語の授業の内容はよく分かりますか」で分かると回答した児童生徒の割合	85.1		♪

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R4			R5		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	205,215	198,974	216,580			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、夢・まちづくり基金繰入金)	153,270	154,270	91,290			
一般財源	51,945	44,704	125,290			
個票枝番	主な事業内容					
	小学校教育機器整備事業費	47,840	42,148	49,550		
	教育系情報ネットワークのセキュリティ強化	18,700	18,696	18,700		
	電子黒板・デジタル教科書の配置	47,210	46,800	46,970		
	教材費	18,600	18,590	28,500		
	1人1台タブレットの活用、貸出用ルーター通信使用料等	72,865	72,740	72,860		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額	164,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
202,700	214,650	214,650	△ 1,930
		85,000	△ 6,290
202,700	214,650	129,650	4,360
査定額	説明		
62,940			
17,300			
38,440			
27,100			
68,870			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> GIGAスクール構想により整備・導入した校内LAN、電源キャビネット、1人1台端末の運用 GIGAスクール構想によるモバイルルーターの運用 全300台 普通教室・少人数教室・理科室への電子黒板を用いた教師用デジタル教科書の運用
評価等	<ul style="list-style-type: none"> GIGAスクール構想により整備・導入した環境・機器の運用が始まり、1人1台端末を利用して様々な教育活動に工夫して取り組むことができた。 休校中の児童生徒に対してモバイルルーターの貸出を実施し、校外での学習機会を充実させた。 電子黒板と教師用デジタル教科書を活用することによって、様々なコンテンツを利用した授業を行うことができ、主体的に学習に向かう児童が増えた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板の全学級配置(少人数学級の増加分、特別支援学級を含む)を図る。 校舎内全域でWi-Fi接続を安定して利用できるように環境整備を図る。 教職員用の授業づくり用1人1台端末の配置を図る。 教育情報セキュリティポリシーを見直し、GIGAスクール構想によるICT利活用の推進とともに、児童・教職員の情報セキュリティに対する意識向上を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

5.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・小学校におけるICT機器の管理運用に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度予算)

事業名	92230 小学校図書教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	2	小学校費		根拠計画 教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	教育振興費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 全小学校の図書館の蔵書について文部科学省基準を上回る図書内容を整備し、分野別でも基準を満たす。 読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。 新たに子どもの居場所づくりの場所としての空間づくりを進める。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館の管理・運営を行う。 分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R4			R5		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	51,060	51,031	52,950			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源	51,060	51,031	52,950			
個票枝番	主な事業内容					
	図書館指導員の配置	36,800	36,784	37,990		
	小学校図書教育推進事業費	560	549	560		
	図書購入費	13,700	13,698	13,200		
	学校図書館への新聞の設置			1,200		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額	53,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
58,661	53,100	53,100	150
58,661	53,100	53,100	150
査定額	説明		
38,400			
500			
13,000			
1,200			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 図書館指導員の全校配置 小学校図書購入冊数 6,692 冊
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 学習センター・情報センターとして学校図書館が機能していくように、教科との連携を図り、児童により必要な蔵書の充実を図った。 調べ学習や学習に対応できるよう、図鑑等の最新版を各学校で購入・配置した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、子どもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。 文部科学省の新聞の配備基準に基づき、小学校2紙、中学校3紙を図書館に配備。コーナーの設置や授業での活用を促し、社会の変化に関心をもち子どもの育成を目指す。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 小学校における図書館の運営に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度予算)

事業名	92240 小学校要保護及び準要保護等児童援助事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(2)	安心して子育てができる環境の充実		
			項	2	小学校費		根拠計画				教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
			目	2	教育振興費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由のため就学困難と認められる児童の就学を援助する。 ・特別支援学級等に在籍する児童の就学を奨励する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の収入等に応じて、必要な学用品費等や学校給食費の全部または一部を援助する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		19,300	15,846	19,000		
特定財源	国費(特別支援教育就学奨励費 1/2)	3,150	2,059	3,000		
	県費					
	その他(夢・まちづくり基金)			120		
一般財源		16,150	13,787	15,880		
個票枝番	主な事業内容					
	要保護及び準要保護児童就学援助費	7,000	6,230	7,000		
	要保護及び準要保護児童給食費	6,000	5,475	6,000		
	特別支援教育就学奨励費	6,300	4,141	6,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額		19,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
20,000	21,000	21,000	2,000	
3,500	3,500	3,500	500	
			△ 120	
16,500	17,500	17,500	1,620	
査定額	説明			
7,000				
7,000				
7,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護・準要保護等児童援助費 344人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学用品の一部や給食費(コロナによる休校期間中を含む)などを実費支給し、児童扶養手当などによる支援と併せて安心して就学できる環境を整えることができた。 ・新入学用品費等について入学前の支給を実施し、対象児童の保護者の負担軽減を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国の制度改正の動向等を把握しながら、必要な援助、学校給食費の全部または一部を支給する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R5完了
- R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	給食費の値上がり分を反映
市長査定の 考え方	財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度予算)

事業名	92260 小学校郷土教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 子どもたちが充実した将来を迎えることができるための教育環境を整えます
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	2	小学校費		根拠計画 教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画				
			目	2	教育振興費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 各学校、地域の特色を活かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する。 地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 各学校における特色ある学校経営を支援する。 各学校で、その地域の特色ある講師や、児童が興味関心をもてる講師を選定し、様々な学習活動を行う。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合	69.0		100%
将来の夢や目標を持っている児童の割合	81.6		100%
「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じている市民の割合	61.3%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R4			R5		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	9,540	7,925	9,340			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他()						
一般財源	9,540	7,925	9,340			
個票枝番	主な事業内容					
	特色ある学校経営の推進	5,000	4,889	5,000		
	社会科副読本「飛驒の高山」	1,600	880	1,400		
	外部講師活用事業	1,900	1,598	1,900		
	社会科副読本「飛驒の高山」別冊	400	264	400		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額		8,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
9,237	9,240	9,240	△ 100	
9,237	9,240	9,240	△ 100	
査定額	説明			
5,000	特色ある学校経営推進協議会補助金			
1,400				
1,900				
300				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 小学校3年生用の副読本「わたしたちのまち高山」を発行 社会科副読本「飛驒の高山」を発行 外部講師 19校で約100名の講師を活用 799時間 特色ある学校経営推進事業 均等事業19校・認定事業6校
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 小学校3年生用社会科副読本「わたしたちのまち高山」を発行し、社会科学習の入り口である3年生の学習に生かすことができた。 社会科副読本「飛驒の高山」を発行したのが7月上旬となり、学校に送付する時期が遅くなった。 各校に交付された補助金を利用して、特色ある教育活動を展開し、郷土を知り、郷土に愛着を感じる活動を行うことで、主体的で深い学びを推進する機会を設けることが出来た。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 社会科副読本は「飛驒の高山」と3年生用別冊「わたしたちのまち高山」の内容を適宜見直し、より学習に生かせるものとなるよう小学校社会科部会と連携しながら改訂を進める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

5.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 地域を知り地域を愛する教育に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度予算)

事業名	93200 中学校運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	3	中学校費		根拠計画 教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	教育振興費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・学校運営に関する費用を負担することにより義務教育の充実を図る。	概要	・学校運営に関する費用を負担する。 ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査を実施し学級経営を支援する。 ・生徒の健康診断を実施する。
----	----------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う児童生徒の割合	85.0		100%
教職員1人あたりの時間外勤務	41.4		↘

2.事業の実施結果等(Do)

		R4			R5		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		31,804	28,174	29,805			
特定財源	国費(情報機器整備事業費 1/2)		187				
	県費(学校基本調査事務費 10/10)		4				
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金・諸手数料)	1,000	2,012				
一般財源		30,804	25,971	29,805			
個票枝番	主な事業内容						
	人間関係づくりのための心理検査の実施	1,449	1,437	1,460			
	中学校運営事業	27,575	23,965	25,565			
	校務支援システムの導入	2,780	2,772	2,780			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額		29,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
30,762	30,005	30,005	200	
166	166	166	166	
30,596	29,839	29,839	34	
査定額	説明			
1,440				
25,785				
2,780				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施(中1.2年生) 1,557人 ・生徒健康診断 2,440人 ・校務支援システムの運用
評価等	・中1.2年生に対する心理検査を実施。各校で結果を分析し生徒の変化を気づくことで、早めの対策を講じることが出来た。 ・生徒の心身の健全育成のため、継続して事業を実施した。 ・校務支援システムを活用することにより、出席簿、成績、出退勤把握の業務において、事務処理が統一化され、作業に係る負担が軽減できた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・中学校教育の運営に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度予算)

事業名	93210 中学校心の教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	3	中学校費		根拠計画				教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
			目	2	教育振興費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・個々の内面に寄り添いながら、一人ひとりが持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。	概要	・保健相談員、特別支援員を配置し、生徒の学校生活の支援を行う。
----	---	----	---------------------------------

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4			R5		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源							
個票枝番	主な事業内容						
	特別支援員・保健相談員の配置			-			

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額		0
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
要求額	説明			
-	R2より人件費に計上			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士によるカウンセリング時間 399時間 保健相談員(中学校) 20人 配置 特別支援員(中学校) 15人 配置
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 学習や集団生活に「困り感」をかかえる児童に寄り添いながら、教職員との連携体制を整え、適した支援を行うことができた。 特別支援学級の増加や相談室等での支援を要する児童生徒の増加に伴い、保健相談員、特別支援員を増やし、支援を充実させることができた。 会計年度任用制度の3年目で更新のための面接を行い、人事評価と合わせて適格・不適格を判断した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 異学年にまたがる特別支援学級7~8人の学級では支援員を配置。 発達障がいや不登校傾向の生徒への対応、日本語が困難な生徒への対応など、手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。 相談員の資質・能力の向上や不登校対策(校内支援センター設置)に向けた保健相談の充実を図る。 相談員の増加に伴い、適正な勤務管理、勤務態度、支援等を指導する。

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・中学校における心のケアに必要な経費を計上
---------------------	-----------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

事業シート(令和6年度予算)

事業名	93220 中学校教育機器整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 子どもたちが充実した将来を迎えることができるための教育環境を整えます
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	3	中学校費		根拠計画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	2	教育振興費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習意欲の向上と学力の定着を図る。 情報教育により情報化社会に対応した情報通信機器を活用できる力の習得や規範意識の向上を図る。 中学校教育機器の充実 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信関連機器などの教具・教材を整備する。 学校内で使用する教材備品の購入
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「国語の授業の内容はよく分かりますか」で分かると回答した児童生徒の割合	82.2		♪

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R4			R5		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	122,500	118,697	129,460			
特定財源						
国費 (情報機器整備事業費 1/2)						
県費 ()						
その他 (飛騨高山ふるさと基金繰入金、夢・まちづくり基金繰入金)	85,170	88,170	49,180			
一般財源	37,330	30,527	80,280			
個票枝番	主な事業内容					
	中学校教育機器整備事業費	30,650	26,830	31,680		
	教育系情報ネットワークのセキュリティ強化	11,810	11,808	11,810		
	電子黒板・デジタル教科書の配置	23,360	23,071	24,090		
	教材費	15,100	15,100	20,300		
	1人1台タブレットの活用、貸出用ルーター通信使用料等	41,580	41,888	41,580		
◎ 1	プログラミング教育ソフト導入					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
129,691	129,150	129,150	△ 310
		50,000	820
129,691	129,150	79,150	△ 1,130
査定額	説明		
31,910			
10,930			
24,550			
20,700			
39,060			
2,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> GIGAスクール構想により整備・導入した校内LAN、電源キャビネット、1人1台端末の運用 GIGAスクール構想によるモバイルルーターの運用 全300台 普通教室・少人数教室・理科室への電子黒板を用いた教師用デジタル教科書の運用
評価等	<ul style="list-style-type: none"> GIGAスクール構想により整備・導入した環境・機器の運用が始まり、1人1台端末を利用して様々な教育活動に工夫して取り組むことができた。 休校中の児童生徒に対してモバイルルーターの貸出を実施し、校外での学習機会を充実させた。 電子黒板と教師用デジタル教科書を活用することによって、様々なコンテンツを利用した授業を行うことができ、主体的に学習に向かう児童が増えた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板の全学級配置(少人数学級の増加分、特別支援学級を含む)を図る。 校舎内全域でWi-Fi接続を安定して利用できるように環境整備を図る。 教職員用の授業づくり用1人1台端末の配置を図る。 教育情報セキュリティポリシーを見直し、GIGAスクール構想によるICT利活用の推進とともに、児童・教職員の情報セキュリティに対する意識向上を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

5.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・中学校におけるICT機器の管理運用に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和6年度予算)

事業名	93220 中学校教育機器整備事業費	区分	<input type="checkbox"/> R5新規	<input checked="" type="checkbox"/> R6新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	学校教育課		
			<input type="checkbox"/> R5拡充	<input type="checkbox"/> R6拡充		款	9	教育費				
枝番・内容	1 プログラミング教育ソフト導入		<input type="checkbox"/> その他重要事業			項	3	中学校費			内線	2358
			<input type="checkbox"/>			目	2	事務局費			作成年月	R6.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・デジタル時代に対応できる人材育成のため ・中学以降の発展的な学びに繋げるため	概要	・プログラミング学習ソフトを導入し、中学段階から実践的なプログラミング学習ができる環境を整備する。
----	--	----	---

【参考】R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R5当初予算(Action) R5.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R6当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	2,000
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		2,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等

[事業実績]	
[評価等]	

次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
----------------	---

事業内容、スケジュール

[事業内容]	
--------	--

[スケジュール]	
----------	--

事業実績、評価等

[事業実績]	
[評価等]	

次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
----------------	---

事業内容、スケジュール

[事業内容]	・プログラミング学習教材を導入し、授業による活用や自宅等での学習環境を整備する。 ・本教材は、授業で活用可能な資料や、カスタマーサポート、教員研修等、充実した教員サポートで、免外の教員でも地域の中で格差なく、質の高い教育を届けることができる ・実践的なテキストコーディングと呼ばれる手法で学ぶことできる。
--------	--

[スケジュール]	・プログラミング学習環境の整備・運用 ・R6.4月～ プログラミングソフトのライセンス購入 購入完了後、運用を開始(～R6.3月) ※次年度以降もライセンス購入を継続
----------	--

事業シート(令和6年度予算)

事業名	93230 中学校図書教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	3	中学校費		根拠計画 教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	教育振興費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・全中学校の図書館の蔵書について文部科学省基準を上回る図書内容を整備し、分野別でも基準を満たす。 ・読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。 ・新たに子どもの居場所づくりの場所としての空間づくりを進める。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の管理・運営を行う。 ・分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R4			R5		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	37,280	37,198	38,970			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源	37,280	37,198	38,970			
個票枝番	主な事業内容					
	図書館指導員の配置	23,300	23,232	23,990		
	中学校図書教育推進事業費	380	366	380		
	図書購入費	13,600	13,599	13,400		
	学校図書館への新聞の設置			1,200		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額		38,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
39,547	36,860	36,860	△ 2,110	
39,547	36,860	36,860	△ 2,110	
査定額	説明			
22,240				
320				
13,100				
1,200				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館指導員の全校配置 ・中学校図書購入冊数 6,724 冊
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習センター・情報センターとして学校図書館が機能していくように、教科との連携を図り、児童により必要な蔵書の充実を図った。 ・調べ学習や学習に活用している百科事典の改訂に対応できるよう、各学校で購入・配置した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、子どもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。 ・文部科学省の新聞の配備基準に基づき、小学校2紙、中学校3紙を図書館に配備。コーナーの設置や授業での活用を促し、社会の変化に関心をもち子どもの育成を目指す。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

5.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・中学校における図書館の運営に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度予算)

事業名	93240 中学校要保護及び準要保護等生徒援助事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(2)	安心して子育てができる環境の充実	
			項	3	中学校費		根拠計画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	2	教育振興費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由のため就学困難と認められる生徒の就学を援助する。 ・特別支援学級等に在籍する生徒の就学を奨励する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の収入等に応じて、必要な学用品費等や学校給食費の全部または一部を援助する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R4			R5		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	23,500	17,501	24,000			
特定財源						
国費 (特別支援教育就学奨励費 1/2)	2,750	1,328	3,000			
県費 ()						
その他(夢・まちづくり基金)			80			
一般財源	20,750	16,173	20,920			
個票枝番	主な事業内容					
	要保護及び準要保護生徒就学援助費	13,000	10,446	13,000		
	要保護及び準要保護生徒給食費	5,000	4,399	5,000		
	特別支援教育就学奨励費	5,500	2,656	6,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額		21,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
24,000	26,000	26,000	2,000	
2,500	3,000	3,000	0	
				△ 80
21,500	23,000	23,000	2,080	
査定額	説明			
14,000				
6,000				
6,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護・準要保護等生徒援助費 194人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学用品の一部や給食費(コロナによる休校期間中を含む)などを実費支給し、児童扶養手当などによる支援と併せて安心して就学できる環境を整えることができた。 ・新入学用品費等について入学前の支給を実施し、対象生徒の保護者の負担軽減を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国の制度改正の動向等を把握しながら、必要な援助、学校給食費の全部または一部を支給する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R5完了
- R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	給食費の値上がり分を反映
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度予算)

事業名	93260 中学校郷土教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 子どもたちが充実した将来を迎えることができるための教育環境を整えます
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	3	中学校費		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画				
			目	2	教育振興費		根拠計画				
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 各学校、地域の特色を活かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する。 地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 各学校における特色ある学校経営を支援する。 各学校で、その地域の特色ある講師や、生徒が興味関心をもてる講師を選定し、様々な学習活動を行う。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
今住んでいる地域の行事に参加している生徒の割合	77.1		100%
将来の夢や目標を持っている生徒の割合	70.9		100%
「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じている市民の割合	61.3%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R4			R5		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		5,390	4,842	5,390			
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		5,390	4,842	5,390			
個票枝番	主な事業内容						
	特色ある学校経営の推進	3,200	3,200	3,200			
	外部講師活用事業	1,800	1,442	1,800			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額		5,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,402	5,390	5,390	0	
5,402	5,390	5,390	0	
査定額	説明			
3,200	特色ある学校経営推進協議会補助金			
1,800				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師 12校で延べ約50名の講師を活用 721時間 特色ある学校経営推進事業 均等事業12校・認定事業4校
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 芸能、スポーツ等の専門的な分野に長けた講師による授業で、生徒が普段はできない学びができ、知識や技能の向上につながった。 各校に交付された補助金を利用して、特色ある教育活動を展開し、郷土を知り、郷土に愛着を感じる活動を行うことで、主体的で深い学びを推進する機会を設けることが出来た。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 地域を知り地域を愛する教育に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度予算)

事業名	93290 中学校部活動支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	3	中学校費		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	教育振興費		根拠計画			
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・部活動大会派遣等に要する経費の助成により、生徒の心身の健全育成を図る。	概要	・部活動やクラブにおいて各種大会へ派遣される生徒、教員等の経費の1/2を補助する。
----	--------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R4			R5		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	10,740	6,137	10,710			
特定財源						
国費(地域スポーツクラブ体制整備事業費 10/10)						
県費						
その他						
一般財源	10,740	6,137	10,710			
個票枝番	主な事業内容					
	中学校部活動に対する支援					
	各種大会派遣に対する支援					
◎ 1	部活動のクラブ移行に対する支援					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額		11,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
15,936	14,280	14,280	3,570	
5,226	3,580	3,580	3,580	
10,710	10,700	10,700	△ 10	
査定額	説明			
1,700				
9,000				
3,580				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 部活動指導員配置促進事業 24名の部活動指導員を10校の中学校に配置 18名の指導員で3,480時間の勤務(一人あたり約189時間勤務) 指導員配置の部活動顧問の時間外勤務が2,252時間削減(一人あたり約75時間削減) 各種大会派遣補助金 県大会出場 70件 東海大会出場 13件 中日本大会出場 1件 全国大会出場 10件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 部活動指導員配置によってより専門的な指導が可能となり、部活動指導の充実が図れた。 また、顧問の時間外勤務の負担軽減につながった。 部活動に対して、一律15,000円の公平かつ効果的な支援が出来た。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 部活動に対して、公平かつ効果的な支援をする。 部活動及びクラブ活動に対する大会派遣の支援を行う。 休日の部活動の地域移行の視点からも部活動指導員を有効に活用する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R5完了
- R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 中学校部活動の支援に必要な経費を計上 部活動の地域クラブ移行に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和6年度予算)

事業名	93290 中学校部活動支援事業費	区分	<input type="checkbox"/> R5新規	<input checked="" type="checkbox"/> R6新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	学校教育課		
			<input type="checkbox"/> R5拡充	<input type="checkbox"/> R6拡充		款	9	教育費				
枝番・内容	1 クラブ活動移行への支援		<input type="checkbox"/> その他重要事業			項	3	中学校費			内線	2358
			<input type="checkbox"/>			目	2	事務局費			作成年月	R6.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域クラブの指導者に対して支援を行い、部活動の地域移行を加速させる。	概要	・地域クラブ活動に従事する指導員へ謝金を支払う。
----	-------------------------------------	----	--------------------------

【参考】R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R5当初予算(Action) R5.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R6当初予算(Action) (千円)

査定額	当初	3,580
主な経費		
	・地域クラブ活動指導者謝金	
対前年度増減額(当初予算)		3,580

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校部活動から移行した地域クラブ活動に従事する指導員に対して謝金を支払う ・R6は、10クラブ25名の指導者を想定 1時間あたり1千円、1日あたり3時間、年間68日を想定 原則活動は、土日のどちらか一方とするが、大会や大会前後は両日の活動も認める。 地域移行クラブ団体 R5～ ハンドボール、剣道 R6～ バドミントン3団体、バレーボール2団体、ソフトテニス
[スケジュール]	R5～7 部活動の地域移行期間 R5.4～ 2クラブ11名の地域クラブ指導者へ謝金支給 R6.4～ 10クラブ25名の指導者へ謝金支給 R8.4～ 部活動の地域移行完了